

多古町まちづくり志民活動助成事業報告会 総評

令和 6 年 3 月 23 日

多古町まちづくり審査委員会

本事業も開始から10年以上が経過しました。応募数が減少した時期もありましたが、近年は増加傾向にあり、志のある「志民」による活動が多古町に根付いてきていることに、まずは感謝とお礼を申し上げます。

本日の報告を受けて、次の4点について総括させていただきます。

まずは1点目。今年度採択された団体からは、デジタル化、子育て環境、文化活動など、現代社会あるいは多古町を取り巻く時代の要請に即した取組みについて提案を頂きました。そして、確実に事業として進められ、さらには、事業を通じて新たな課題や今後の展望を十分に報告いただいたことに感謝を申し上げますとともに、多古町の志民活動が一層展開していくことに大きな期待を抱いています。

次に2点目。過去に助成事業として採択され、これまで継続的に活動を行ってきた団体、また、新たに生まれた「志民団体」から事業提案がございました。このような新旧団体による活動が町民の志を更に高め、町内外にアピールするとともに、新たなまちづくりが展開されることで、本助成事業及び志民活動がますます活性化することを大いに期待しています。

続いて3点目。複数の事業を並行して行っていく団体にとっては、コンセプトをもって、それぞれの事業間の相互の関りを明確にしながら活動を進めていくことが大事であると考えています。また、複数年にわたり継続的に事業を実施していく団体にとっては、組織として達成すべき首尾一貫とした考えをもって、これまでの取組みに変化を加えながら、新たな活動を展開していくことが重要であると考えています。志民団体が試行錯誤を重ね、新たな活動を模索していくための一助として本事業を活用していただければ幸いです。

最後に4点目でございます。今後とも各団体は、それぞれの活動に誇りを感じていただけるような取組みを継続して町内外にアピールするとともに、活動に関わった方々に感謝や敬意の気持ちをもって取り組むことによって、ひいては、品格のあるまちづくりに繋がっていくのではないかと考えています。ぜひ、志民団体の皆様には、品格のある地域づくりの導きとして、引き続きご協力を賜ればと存じます。